

「生徒と先生が授業を見つめるアンケート」の見方と ポイントまとめ

個人票（この表）の見方

- ◆このアンケートはまず、Qの内容を授業づくりの要件と認識していただくためのメッセージと受け止めてください。「生徒指導の3機能」ともつながる要素がほとんどです。
- ◆回答者群が均質ではありませんので、僅かなポイントの多少で授業力の優劣を判断するものではありませんが、大きなポイントの高低や変化は、十分ご自身の授業を見直す手がかりにしてください。
- ◆15あるQは「昔からの、分かりやすい授業の要素」または「これから時代に必要な資質・能力を育むための要素」を確かめるものになっています。それぞれの問い合わせどちらなのかは、下の表に数値が表れているか斜線かで示してあります。
- ◆4・3が望ましい回答ですが、【逆説的な問い合わせ】として示した問い合わせ7.と10.は、2・1と回答されることが望ましい問い合わせです。逆説的な問い合わせは、下の集計では2・1がよいものとして計算されています。
- ◆あなたの中で各回高い値のもの2位までが太字斜字アンダーライン、低い値のもの2位までが網掛けで示されています。網掛けの項目については急いで改善してください。学び心地・学び甲斐がそろっている授業はそれ自体が生徒指導（生徒を育む営み）です。

個人票（別紙グラフ）の見方

- ◆それぞれの問い合わせへの4・3・2・1それぞれの回答の割合をグラフにしたもので、下の帶から順に、望ましい回答（4や3）です。
- ◆各グラフ左の棒が前期、右の棒が後期です。
- ◆【逆説的な問い合わせ】のグラフも他と同様、下の帯が望ましい回答（2や1）です。

※各教科で付けなければならない資質・能力（いわゆる力、本来の学力）が付いているかどうか、他の指標も参考に今後の授業づくりをお願いします。

昔からの、わかりやすい授業の要素を確かめるQ
1回目→2回目
値の幅2.0～-2.0

これからの時代に必要な資質・能力を育むための要素を確かめるQ
1回目→2回目
値の幅2.0～-2.0

1. 本時の目標（めあて）と1時間の内容が、黒板を見ればわかる。	<u>1.4</u>			
2. 説明・指示・問い合わせが聞き取りやすく、意味がわかる。	<u>1.5</u>			
3. 聞く、見る、写す、黙って考える、発言するなどの時間の区切り（今何をすればいいのか）がはつきりわかる。	<u>1.8</u>			
4. テストのためというより、大人・社会人になるために勉強している感じがする。			<u>1.9</u>	
5. 生徒の発言が授業に生かされていると思う。			<u>1.4</u>	
6. ノートやワークシートに、自分で考えて書く部分があり、書いたことを読んでもらって印をして返してもらっている。			<u>1.2</u>	
7. 先生から出される問い合わせや取り組むことはだいたい、簡単で誰でもすぐできる。【逆説的な問い合わせ=回答1が最も望ましい（ことを踏まえ集計）】			<u>-0.9</u>	
8. 先生から出される問い合わせや取り組むことは、すでに頭に入れたことを組み合わせるなどして生かしてこそできるものだ。			<u>1.4</u>	
9. 写したり考えたりするための活動の時間（それに何分かけるか）は、ちょうどよい長さだ。	<u>1.6</u>			
10. 自分でがんばろうとしているのに先生の大きな声がいつまでもする。【逆説的な問い合わせ=回答1が最も望ましい（ことを踏まえ集計）】	<u>1.6</u>			
11. ペアや3～4人グループでの学び合いは、意味があると思う。			<u>1.6</u>	
12. 生徒の発言や書いたことに対して、先生はよいところや気をつけてほしいことについて、わかりやすくリアクションしてくれる。	<u>1.5</u>			
13. 先生は、素朴な疑問・質問に丁寧に答えてくださる。	<u>1.6</u>			
14. 家庭学習課題や予習・復習に取り組めるように、授業で指示がある。	<u>1.8</u>			
15. 授業時間で「これは無駄だな」「意味・意義がわからないな」という出来事、先生の発言や行動、時間があれば教えてください。	記述式（別紙グラフ下）			
	1回目	2回目	1回目	2回目
1年生 英語 ○○ 先生の授業各要素への生徒の認め率%	80.1		54.9	
校内平均				